

# Coinhive設置サイト摘発

- ・ Coinhive事件とは？

Coinhive：サイトを閲覧した人のCPUを動かし、仮想通貨のマイニングを行うツール

ある男性がCoinhiveを**サイト閲覧者の同意を得ず**設置  
⇒不正指令電磁的記録取得・保管の罪（通称ウイルス罪）で略式起訴  
⇒男性が判決を不服とし**正式裁判要求**

- ・ 裁判の争点

Coinhiveが不正指令電磁的記録に該当するか

⇒**反意図性**と**不正性**という二つの要件を満たしているか

# 事件に対するそれぞれの主張

## 検察側の主張

- 閲覧者はマイニングに気づかないため、閲覧者の意図に反している（**反意図性**）
- 閲覧者にマイニングする意思がなかったことは明らか（**不正性**）
- 犯罪が実現されるかもしれないことを認識していたはず

## 弁護側の主張

- Coinhiveは単に計算を行うに過ぎない
- 男性はCoinhiveをウイルスと認識して利用していたわけではない（**不正性の否定**）

# 判決

第一審：

反意図性は認められるが、不正なプログラムに**該当するか**は疑問が残る

⇒**無罪判決**

第二審：

Coinhiveを**ウイルスにあたるもの**であると判断

⇒**有罪判決**

# 考察

- ・ 法律の規定が曖昧すぎる
- ・ 司法側の解釈次第で判断が変わる可能性がある

⇒**解釈に幅を持たせた法律を改正して、定義を厳格化していくべき**

# 参考文献

<https://crypto-times.jp/whatiscoinhive/>  
<https://doocts.com/3403>